

## 2006年11月 松坂屋月次営業報告

## 1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)	入店客数(%)	営業日数増減
名古屋店	0.7	48.0	3.6	±0日
岡崎店	0.3	2.3	2.6	±0日
名古屋駅店	1.2	3.9	2.0	±0日
豊田店	4.4	3.3	0.4	±0日
高槻店	14.0	5.8	3.4	±0日
上野店	6.1	20.3	7.8	±0日
銀座店	14.8	5.5	5.1	±0日
静岡店	7.9	10.8	1.4	±0日
合計	1.8	100.0	0.8	

## 2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	3.5	8.0
婦人服・洋品	1.2	26.3
子供服・洋品	0.8	2.1
その他衣料品	7.3	4.0
衣料品計	0.8	40.3
身の回り品	7.6	9.7
化粧品	8.8	3.1
美術・宝飾・貴金属	2.9	6.9
その他雑貨	2.5	6.5
雑貨計	1.2	16.6
家具	11.8	2.3
家電	9.3	0.9
その他家庭用品	20.9	4.2
家庭用品計	4.6	7.4
生鮮食品	1.2	3.9
菓子	4.0	5.7
惣菜	3.2	7.2
その他食料品	19.8	6.7
食料品計	4.7	23.4
食堂・喫茶	11.8	1.8
サービス	28.9	0.6
その他	2.0	0.3
合計	1.8	100.0

## 3. 商況概況

## &lt; 主な店舗別売上高概況 &gt;

・全店売上高は対前年 1.8%。入店客数の対前年は 0.8%。  
前年実施を上回った店舗は、名古屋店、岡崎店、名古屋駅店、豊田店、静岡店。

・名古屋店は、対前年+0.7%。気温が高かったため衣料品が苦戦したが、雑貨、食料品でカバーし、2ヶ月連続前年を上回った。  
10月にオープンした北館地下1階レストラン街「レ・シ・ビ」の集客効果もあり、入店客数は+3.6%と伸びた。

・上野店は、本館1階と中2階、2階を結ぶ新設エスカレーターが完成し、婦人服フロアの回遊性が増したものの、天候の不順により衣料品が不振であった。

・高槻店は、前年の食品フロア改装オープンの反動と、衣料品および外商部の落ち込みにより前年を下回った。

・銀座店は、前年の大口受注の反動や地区内に店舗内展開ブランドの路面店がオープンしたことが影響し、前年を下回った。

## &lt; 主な商品別売上高概況 &gt;

・紳士服・洋品は、ジャケットなどカジュアルウェアが苦戦した。

・婦人服・洋品は、気温の高いなか善戦したが、インポートブランドの不調が響き、前年を下回った。

身の回り品と家具、家電は、前年外商部門の大口受注の反動減。  
その他家庭用品は、外商部門の大口受注で大幅増。

食料品は、歳暮ギフト早期受注策も奏功し菓子、惣菜など順調に推移したが、その他食料品は、食品ギフト券計上方法変更により大幅減。

(注) 1、2表とも、構成比の合計は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

## 2006年11月 横浜松坂屋月次営業報告

## 1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	入店客数(%)	営業日数増減
横浜松坂屋	1.1	2.3	±0日

## 2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	12.2	3.7
婦人服・洋品	6.3	15.2
子供服・洋品	75.6	8.0
その他衣料品	1.7	1.8
衣料品計	15.6	28.7
身の回り品	5.9	2.7
化粧品	12.7	1.9
美術・宝飾・貴金属	0.3	6.5
その他雑貨	21.7	9.9
雑貨計	12.2	18.4
家具		0.4
家電	16.8	0.9
その他家庭用品	214.6	3.4
家庭用品計	117.1	4.6
生鮮食品	0.9	11.7
菓子	3.8	5.3
惣菜	0.0	8.6
その他食料品	38.4	5.7
食料品計	9.9	31.3
食堂・喫茶	6.5	1.6
サービス	7.6	5.5
その他	5.4	7.3
合計	1.1	100.0

## 3. 商況概況

## &lt; 主な売上高概況 &gt;

- ・売上高は対前年+1.1%。入店客数は、各種イベントを行ったものの2.3%と前年を割る。
- ・外商部門は大口入札受注が好調な法人部門が大幅増。

## &lt; 主な商品別売上高概況 &gt;

- ・紳士服・洋品はコート等の重衣料が不調。
- ・子供服・洋品は、入札品の大口受注により前年を大幅増。
- ・化粧品は限定品などが好調。
- ・その他雑貨は催事の不振による。
- ・家電は、前年の大口受注の反動減。
- ・その他家庭用品はカタログギフトと和洋食器の好調により前年オーバー。
- ・その他食料品は食品ギフト券計上方法変更によりマイナス。

(注) 2表の構成比合計は、計算処理上必ずしも100%にはなりません。

お問い合わせ先 (株)松坂屋ホールディングス (名古屋) 052-264-7028  
 広報・IR室 (東京) 03-3572-1201

**Matsuzakaya**  
 HOLDINGS